

DOYU

Kanagawa

経営も人生も

ノリと実践で切り拓け！



PLATTER 25

SICOS
Save Intelligent Control System

福田産業

'25.6/7 vol.466

同友かながわ 6/7月号

福田産業株式会社 福田 隆将氏

経営も人生もノリと実践で切り拓け!

横浜北支部長、経営労働副委員長、そして7月に行われる第57回中同協定時総会第5分科会での報告と、大変忙しい福田産業株式会社の福田 隆将氏。港湾向けのお仕事から建築資材へ移行した経緯や組織をまとめる難しさ、さらに海外での暮らしと趣味のお話まで掘り下げて、福田氏の魅力をたっぷりお聞きしました。

— 福田産業はどのような会社ですか

福田氏 父が創業した会社で、もともとは港湾に梱包資材を販売する営業中心の会社でした。父は宮崎の貧しい家庭から上京し、古本屋の営業などで資金を貯めて独立したんです。営業が得意で、立ち上げ当初は少人数で密な関係を築いていましたが、社員が増えるにつれて徐々に組織の歯車がかみ合わなくなっていきました。

さらに、リーマンショックの影響で業績が悪化。新たな柱として建築資材の販売を始めました。現在では売上の6割が建築資材です。ただ、建築資材の納品先は遠方が多く、配送が追いつかない。営業は仕事を取ってくるけれど、現場が対応できず社内で衝突が起きました。

当時は「何が原因でうまくいかないのか」が全くわかりませんでした。組織、仕組み、商品——どこに課題があるのかも見えないまま、ただ売上を追っていたんです。だからこそ、私が社長になって最初に取り組んだのは、組織を立て直すことでした。

— 事業承継のご苦労はありましたか？ また、神奈川同友会へ入会されたのは事業承継の後ですか？

福田氏 私が会社を継ぐことは決まっていたので、すんなり事業承継

しました。

神奈川同友会とのご縁は私の父(現会長)が、同友会で事業承継セミナーがあることを知り、セミナーに参加したことがきっかけです。その際に、「うちの息子をどうにか助けてやりたい」という相談をしたところ、「経営指針がありますよ」と、父と事務局に誘われ同友会に入会しました。

私とは言えば、業績が落ち込んでいた会社を何とかするために、する思いで経営指針を受けてました。経営指針作成後も、ブラッシュアップするやり方もわからず、同期や先輩に聞いて進めてきました。現在では、なんとか売り上げも上がって会社もよくなっています。

— 入会から11年、このたび、横浜北支部の支部長にご就任されるとのこと、まずは、今のお気持ちとどんな支部をつくっていきたいとお考えですか？

福田氏 正直、「運悪く引き受けちゃったかな？」という気持ちもありました(笑)。でも終わった時に「やってよかった」と思える活動にしたいですね。横浜北支部はエリアが広い分、多様な業種の仲間がいて、しかも雰囲気が良い。そこを壊さず、学びも実践もある“楽しい場”をつくって

いきたいです。プレッシャーは今のところあまりなく、頼れる幹事の方々に支えられて安心しています。本番が近づいたらきっと実感するんでしょうけど(笑)。

— ほかに、いわゆる“非公認の同友会活動”にも熱心だと。

福田氏 はい、釣り同友会やプロレス同友会など、いろいろ楽しんでます(笑)。横浜北や小田原の仲間たちと年に数回釣りに行ったり、プロレス観戦もよくしています。今では「プロレス同友会の代表理事になるのが夢」と冗談交じりに話すくらい、自分にとって大切な活動です。支部長よりもそっちの方が自分らしいかもしれせん(笑)。



同友会では、釣りやプロレスなど、いろいろ楽しんでます。



福田産業株式会社
代表取締役 **福田 隆将**

〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡4丁目23番64号
TEL：045-584-0991 FAX：045-584-0996

港湾向けの梱包資材から
スタートし、現在は建設
現場向けの資材販売を中
心に展開する専門商社



<https://www.fukuda-sangyo.com/>

入会11年目。横浜北支部長就任、中同協定時総会での報告と大変忙しい福田氏。

—そして、7月の第57回中同協定時総会の第5分科会では、神奈川を代表して報告をされますね。

福田氏 「社員は最も信頼できるパートナー」という言葉がありますが、実際には腹落ちしにくい言葉でもあると思っています。福利厚生や残業削減などに取り組んでも、それだけでは信頼関係は築けないと感じてきました。ある報告で「信頼とは、裏切られても自分を誇れること」と聞き、信頼とは経営者の姿勢にかかっているのだと気づきました。例会で他社の話を聞き、自分の経営を振り返る機会が多く、自身の姿勢を問う時間にもなっています。そうした実践を、報告で伝えたいと考えています。

—さて、ここからは福田さんご自身のことをお聞きしていきましょう。ロンドンに留学していたことがあるとお聞きしましたが、もともと海外志向だったのでしょうか？

福田氏 はい、大学時代からバックパッカーとして南米や東南アジアを旅していて、「いつか海外で暮らしたい」と思っていました。実家の福田産業でアルバイトはしていました

が、家業を継ぐより海外志向が強かったですね。卒業後は入社したものの、大きな交通事故がきっかけでロンドン留学を決意。語学学校に2年通った後、音楽系の専門学校にも進学しました。その後は劇場のバーで働き、多様な人々と接する中で、価値観が大きく広がりました。

—奥様がオーストラリアの方だと伺いました。ロンドンでの出会いだっただけですか？

福田氏 よくそう聞かれるんですが、実は全然違って（笑）、出会いは町田のパブのハッピーアワーです。彼女は当時、英会話のNOVAで働くために来日していたオーストラリア人。よくある「お金を貯めてアジアを旅する」というワーキングホリデースタイルですね。結婚した今では、「あなたと結婚したせいで旅できなかったじゃない！」って、たまに冗談混じりに怒られています（笑）。

—お仕事もお忙しいと思いますが、趣味もかなり多いと伺っています。

福田氏 はい、趣味は多いです。釣り、登山、スノーボード、ゴルフ、あとは料理。何かを“始めてみる”のが

好きなんです。仕事も趣味も、根っこにあるのは「好奇心」なんです。

—料理もされるんですね。どんなものを作るんですか？

福田氏 旅行好きの延長で、“聞いたこともない国の料理”に惹かれるんですよ（笑）。綱島にある、インド人しか行かないようなスパイス専門店があって、そこで謎のスパイスを買い込んで冷蔵庫に詰め込んで。結果、妻によく怒られます（笑）。でも、時間があるときはちゃんと仕込みからやります。料理は振る舞うのも好きで、人に食べてもらうのが何より楽しいんです。

—最後に、今後の福田産業の展開について教えてください。

福田氏 コンポ（コンテナを保管する場所）を港で展開しておりますので、運送関係への展開も視野に入れています。うちは建設系の商社ですが、内装工事の周辺分野でも新しい商材がないか模索中です。「固定概念にとらわれない」というのが弊社の営業スタイルなので、「売れるものは何でも売る」という姿勢で柔軟に動いていきたいです。

NEW FACE

ビューティープロは、理容・美容学生、教育機関、サロンをつなぐキャリア支援のプロフェッショナルです。就職授業やガイダンスの実施、採用ツールの制作、メディア発信などを通じて、若者が将来に希望を持ち、自らの意思で進路を選べる環境を提供しています。企業の採用活動にも寄り添い、理念に基づいた人材育成と時代に合ったブランディングをサポートします。学校と企業、双方に信頼されるパートナーを目指しています。

株式会社ビューティープロ マネージャー 荒井 智也

業種 広告業、求人コンサル業（理美容業界）
会社住所 〒222-0033
横浜市港北区新横浜 3-17-20
ヒューマンハイム新横浜701
電話番号 045-624-9093
会社HP <https://www.bp0327.com/>
所属支部 横浜北支部
紹介者 Web
入会年月 2025年3月



株式会社YMGコンサルティングラボ 代表取締役 松嶋 政志

業種 コンサルティング業
会社住所 〒226-0025
横浜市緑区十日市場町861-6
電話番号 045-983-0110
会社HP <https://keiri-outsourcing.com>
所属支部 横浜北支部
紹介者 税理士法人YMG林会計
林充之氏
入会年月 2025年3月

YMGコンサルティングラボは、税理士法人YMG林会計の一部門として、経理のIT化・アウトソーシング・経理コンサルを柱に、業務効率化と経営支援を実現。クラウド会計やシステム導入で企業の成長を後押しします。



お世話になります。有限会社フジ・グラインドの竹内と申します。横須賀市公郷町で、半導体業界向けに研削加工に関わる事業を行っています。よろしく願い致します。

有限会社フジ・グラインド 取締役社長 竹内 章

業種 研削加工業
会社住所 〒2380022
横須賀市公郷町 2-7-13
電話番号 046-874-6147
会社HP <https://fuji-grind.com/>
所属支部 県南支部
紹介者 (株)開明製作所 梅田八寿子氏
入会年月 2025年3月





ミレニア弁理士法人
代表弁理士 坂本 加代子

業 種 弁理士（特許、意匠、及び
商標の出願、特許調査）
会社住所 〒222-0033
横浜市港北区新横浜一丁目13番地 6
アイシスプラザIII 202号室
電話番号 045-472-2880
会社HP <https://www.millenniapat.com>
所属支部 横浜北支部
紹介者 Web
入会年月 2025年 3月

徳島県生まれ、神奈川県新横浜のミレニア弁理士法人、代表弁理士の坂本加代子です。化学・材料・半導体分野を得意とした特許出願、意匠登録出願、商標登録出願、特許調査を行っています。半導体プロセス開発者と2000件以上の特許出願の経験から、お客様が気づいていない課題や技術力を見出します。効率的で広い権利を取得できたとお客様から定評を頂いています。お客様の利益を優先に考えた攻めと守りの知財戦略をご提案します。

広島出身で大学以来、関東在住です。新卒でパイオニア株式会社に就職し、通信カラオケの開発から始まりSE、企画などの経験を得て今に至っております。会社は飯田橋ですが、住まいは横浜です。

2025年3月から教育を主体としたITソリューションの多種多様なサービスを展開するアドワー株式会社の代表取締役社長に就任。社内には様々な課題があると感じており、その解決を経営者仲間と一緒に学び、良い会社を作りたいと考えています。

アドワー株式会社
代表取締役社長 天野 光善

業 種 ITソリューション
会社住所 〒102-0071
東京都千代田区富士見 2-7-2
ステージビルディング13F
電話番号 080-7751-8017
会社HP <https://www.adwaa.co.jp/>
所属支部 横浜北支部
紹介者 ぜんち共済(株) 榎本 重秋氏
入会年月 2025年 3月



大企業と比べて採用力が弱くなりがちな中小企業にとって、既存社員を育て、組織を強くすることが最も効率的な成長戦略だと思っています。

苦勞して採用したのにすぐに辞めてしまう、必死に教えているのに全然育たない、指示待ち風土が気になる、特定の社員との関係構築に苦勞している等々、人や組織に関するお悩みがあれば、お気軽にお声掛けください（相談無料）。伴走しながら課題を解決し、業績向上につなげていきます。



アジリティーム
代表 金子 武史

業 種 組織強化・
人材育成コンサルティング
会社住所 〒220-0004
横浜市西区北幸 1-1-8
エキニア横浜 5F HamaPort内
電話番号 080-3024-3357
会社HP <https://www.agiliteam.jp/>
所属支部 横浜中央支部
紹介者 (株)ベストパートナー 加藤 睦氏
入会年月 2025年 4月

分科会・特集

01 14

第57回中同協定時総会まであと1か月。総会への参加申し込みはお済みでしょうか？
今回は分科会情報をお届けします。全国から集まるすごい経営者の報告を聞き、グループ討論で理解を深め、自社の経営を一步先に進めましょう。
神奈川の二人の報告者も注目です。

分科会

01

「労使見解」と同友会運動

中同協

神奈川大学名誉教授
中同協企業環境研究センター顧問

大林 弘道氏



1942年東京都生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業、同大学経済学研究科博士課程単位取得満期退学。神奈川大学専任講師・助教授・教授を経て名誉教授。中小企業家同友会との関係では、1989年の中同協企業環境研究センター（当時は景気・産業構造動向調査研究会）の設立メンバーとして着任、2009年より副座長、2010年より顧問となり、現在に至る。

「中小企業運動」と「同友会運動の到達点と課題」は何か

「労使見解」発表50年を迎えて改めて考える

戦後、中小企業運動が展開され、1957年日本中小企業家同友会が創立。1969年中同協が設立され、労使関係の議論が加速しました。12年に及ぶ議論を経て、1975年1月に「中小企業における労使関係の見解」（労使見解）を発表し、本年をもって50年を迎えました。

そこで改めて、中小企業運動とは何であり、なぜ社会に登場したのか、日本の中小企業運動はどのような特徴があるのかを振り返ります。また同友会運動の出発点や特徴、現状の到達点と課題は何かを学び合い、今後の同友会運動の展開を考えます。

分科会

02

「労使見解」の精神を次代につなぐ

長野

(株)システムプラン 代表取締役会長

長野同友会代表理事 原 勝敏氏



設立年1982年／資本金2,000万円／年商9億円／社員数86名／事業内容：企業向けコンピュータシステム設計・開発・保守・機器販売
<https://www.systemplan.co.jp/>

新次元の労使関係と全社一丸経営で次代につなぐ

社員が社長になりたい会社をめざして

(株)システムプランはかねてより社員から社長を輩出し、原氏で3代目。社員の1/3が株主で社長も数%の株保有率。社長も取締役も「役割の一つ」と捉え、社員全員が対等な立場で会社を運営しています。

事業面では下請け事業構造を改革すべく自立した事業へと全社一丸経営を進め、チームワークと役割を意識して経営指針を全員で実践しています。労使見解を軸とした実践報告から次代につなぐ経営について考える機会にしましょう。

分科会

03

人を生かす経営で21世紀型企業づくり

中同協

(株)吉村 代表取締役社長
中同協女性部連絡会代表、東京同友会代表理事

橋本 久美子氏



創業年1932年／設立年1954年／社員数228名(男113名女115名)(2024年9月末現在) 派遣子会社(正雄舎)に46名／資本金9,100万円／年商55億8,000万円／事業内容：食品包装資材の企画、製造、販売。
<https://www.yoshimura-pack.co.jp/>

「やり方」から読み解く、人を生かす経営

価値観の変化に対応するため、2016年に扶養家族手当廃止を提案した橋本氏。一時は却下されるも権力を使わず時間をかけて関わると決意し、「異議あり」の声を社員の「願い」と捉え、数々の変遷を経て社員が納得感を持つ仕事給へ転換しました。

また、利益の均等還元を実施し、会社の透明性を高め社員が声を上げやすい環境を整備。対話を重ね、共に解決策を見いだす地道な積み重ねで「会社は自分たちで変える」と社員がイキイキと活躍する吉村の挑戦の軌跡に学びます。

分科会

04

同友会と企業経営は不離一体 同友会の学びと実践

新潟

(株)NODA 代表取締役

新潟同友会理事 古川 敦義氏



創業年1946年／設立年1966年／社員数20名／パート・アルバイト4名／資本金1,000万円／年商3億100万円／事業内容：美容室の繁栄に貢献すること
<https://www.noda-salon.com/>

水害・赤字…それでも会社を立て直す経営者のプライド

不離一体の経営と生き方がここに！

「御社の経営理念は？」取引先からの問いかけをきっかけに経営指針を成文化。事業定義を転換し会社改革に取り組み始めた矢先の豪雨水害の発生。廃棄せざるを得なくなった山ほどの在庫。加速するネット販売との闘い。赤字を覚悟し、『やめる』ことを決めた途端の同友会代表理事の拝命。

経営者としてのプライド、経営者としての優先順位をどこに置き、数々のトラブルをどう乗り越えてきたのか？自社と同友会の不離一体経営とは？

分科会のお申込先

第57回中同協定時総会 in
神奈川のお申し込みはこちら➔



仮申込済みで分科会が
未登録だった方はこちら➔



第57回中同協定時総会
特設ホームページ



分科会

05

経営指針の確立と実践の運動

神奈川



福田産業(株) 代表取締役
神奈川同友会横浜北支部長

福田 隆将氏

今号の
表紙!

創業年1969年/設立年1971年/社員数20名/パート・アルバイト1名/資本金2,400万円/年商13億円/事業内容:土木建設資材/建築資材/各種梱包資材/各種機械類/鉄鋼二次三次製品の販売
<https://www.fukuda-sangyo.com/>

経営指針の実践を通して気づいた、経営姿勢の確立

「労使見解」が教えてくれたこと

父親から2代目として事業承継し、経営指針を受講。ひたすら経営指針を実践するも、変わらない会社の状況。経営指針の手段ばかりにとらわれていたことに気づきました。改めて「労使見解」を何度も読み返し、経営姿勢の確立の重要性に気づきました。

経営指針を受講して気づいたこと、そして、実践を続けてきたことで経営者、会社がどう変化してきたのか、その実践をご報告いたします。

分科会

06

経営戦略の再構築や戦略転換で 企業体質強化

兵庫



神戸化成(株) 代表取締役社長

兵庫同友会代表理事 村川 勝氏

創業年1978年/設立年1981年/社員数62名/パート・アルバイト7名/資本金3,000万円/年商23億2,000万円/事業内容:食品添加物の天然系色素の製造販売および甘味料などの輸入加工販売
<https://kobeche.co.jp/>

身の丈に応じた企業変革力

理念の共有と労働分配率経営が社員の自立自走を生み出す

企業の成長過程での変化は売上1億、2億、3億、5億、10億、20億それぞれの段階で必要になります。会社は急に強くなるのではなく変化し続けることで耐性を手に入れます。入社時、父、母、番頭と私の4名、売上1億の会社から、1回も赤字を計上せず地道に成長を遂げ続ける会社の企業変革力と息子(専務)への事業承継を目前に控えた新たな戦略をお聞きください。

分科会

07

共に育つ

宮城



(株)建築工房 零 代表取締役
中同協環境経営委員会副委員長

宮城同友会支部理事 小野 幸助氏

創業・設立年2005年/社員数56名/パート・アルバイト3名/資本金3,300万円/年商13億円(グループ累計)/事業内容:建築事業、不動産事業、環境事業
<https://zerocraft.com/>



8Lゼミナール 代表

同友会大学顧問 村尾 誠氏

創業・設立年2010年/事業内容:教育・文化事業

共に育つ

経営指針の確立はグループ討論から

なぜ、組織には理念・ビジョンが必要なのか?そして、なぜ、機能しないのか?一人一人の得意・不得意、好き・嫌い、ライフスタイル・人生設計も含め、「みんな違う」ということをベースに、お互いに問いかけ一緒に考える場が必要です。その一つが「自主・民主・連帯の精神」の具現化の一つである「グループ討論(対話)」です。経営指針の確立をめざし、経営指針の実践と「社内のグループ討論(対話)」をセットで検証し学び合います。

分科会

08

地域で人を育て、地域に人を残す 運動-同友会の共同求人運動

中同協



法政大学 キャリアデザイン学部教授

児美川 孝一郎氏

1963年生。東京大学大学院教育学研究科博士課程を経て、1996年より法政大学に着任。2007年より現職。日本教育学会理事、日本教育政策学会理事。専門は、青年期教育・キャリア教育。著書に『高校教育の新しいかたち』『キャリア教育がわかる』等



(株)EVENTOS 代表取締役

中同協共同求人委員長/広島同友会理事

川中 英章氏

創業・設立年1988年10月1日/社員数35名/パート・アルバイト22名/資本金4,000万円/年商4億8,000万円/事業内容:各種ケータリングサービス・催事の企画運営・飲食店・産直市場
<https://www.eventos.co.jp/>

若者の就職をめぐる現状と中小企業の課題

経営者の意識はアップデートできていますか?

社会は急速に変化し、就職に対する若者の意識と行動も大きく変化しています。国内では少子化・人口流出で若者が減っていく中、若者の志向や価値観を理解せずして採用はできません。採用できても、社員が人として育つ環境がなければ、すぐに去ってしまいます。

企業は地域の雇用の受け皿であり、成長の場としての頼れる学校です。若者に選ばれる魅力ある企業とは何か。児美川氏、川中氏の報告から現状と企業が取り組む課題を学び合います。

分科会
09

「労使見解」と 多様性を生かした企業づくり

神奈川



(株)ロジナス 代表取締役
神奈川同友会ダイバーシティ委員会前委員長
山本 啓一氏

創業・設立年2011年/社員数10名/資本金310万円/年商4,500万円/事業内容:Webシステム開発、デジタルコンテンツの制作請負・配信および販売、旅行業
<https://www.loginas.co.jp/>

社会の枠にとらわれない、組織の多様性を考える

誰もが持つ強み、生かすも殺すも経営者次第

大学卒業後、証券会社の情報システム部門に勤務した後、2011年に独立して同社を設立。2013年の神奈川障全交への参加をきっかけに同友会に入会。創業時からより良い働き方をめざしていたため、それらを学ぶために同友会で経営指針の作成と実践に取り組みます。その実践を進めていく中で、さまざまな壁にぶつかり悩む日々を過ごしながらも少しずつ社内に変化が生まれてきました。そして今、障害者雇用や旅行代理業にもチャレンジし、誰もが働きやすい理想的な企業づくりに向けて邁進中です。

分科会
10

環境経営・SDGs・ エネルギーシフトの実践

静岡



(株)アサギリ 代表取締役
静岡同友会代表理事 **箕 威頼氏**

創業・設立年1965年/社員数29名/パート・アルバイト4名/資本金1,000万円/年商5億9,000万円/事業内容:産業廃棄物中間処分 肥料製造・環境関連エネルギー事業
<https://asagiri.info/>

NIMBYからPIMBYへ

環境課題解決で地域との共存をめざす

(株)アサギリは、富士山西麓の朝霧高原を拠点に、有機性廃棄物を堆肥・肥料へと再生する産業廃棄物処分業を展開。産廃処理施設は一般的に迷惑施設と言われ地域から除外されがちです。

その認識から、地域産業の酪農家や隣接地域との協業によりローカルSDGsを構築。地域に必要とされる、なくてはならない施設へと転換してきました。「たゆたえども 沈まず」の理念のもと地域環境保全に貢献し続ける経営実践を報告します。

分科会
11

地域課題・社会課題に取り組む 企業づくり

広島



(株)タテイシ広美社 会長
広島同友会代表理事/中同協副会長
立石 克昭氏

創業年1977年7月/設立年1986年7月/社員数80名/パート・アルバイト60名/資本金1,000万円/年商21億円(2025年6月予測) /事業内容:各種広告看板企画・設計・施工 各種塗装工事 LED電光表示システム設計・製作
<https://t-kobisha.co.jp/>

社員と共に故郷で錦を織り続ける企業とは

おかあちゃん、わたしもこのかいしゃではたらきたい!!

4年連続で全国最多の転出超過となった広島県。地元に残る若者が減少する中、地域づくりと企業づくりを一体として取り組むことが課題に掲げられています。(株)タテイシ広美社では、社員の家族参観日の開催や、府中市立府中明郷学園のコミュニティスクール活動を通して、「地域で働く」という選択を持つ子どもたちを育てています。コミュニティスクールのスローガンは「地域の中に学校を、学校の中に地域を」。立石さんの「地域づくりは企業づくり」という実践から学びます。

分科会
12

情勢-転換期の中小企業の 経営戦略・企業変革

中同協



(株)宮崎本店 代表取締役会長
中同協顧問 **宮崎 由至氏**

創業年1846年/設立年1951年/社員数75名/パート・アルバイト60名/資本金6,750万円/年商92億円(令和6年9月現在) /事業内容:酒類ならびに食品の製造および販売
<https://www.miyanoyuki.co.jp/>

時代を読み解き、付加価値を高める

厳しい経営環境の中で戦略的に企業変革に挑む

中小企業をめぐる情勢は、少子高齢化による人手不足、エネルギー価格や原材料費の高騰による物価上昇、急激に進む賃上げ、後継者不足による事業承継の問題など厳しさを増しています。そんな中でも経営者である以上、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任があります。情勢を見極め、市場のニーズの変化を読み、常に次の一手を打ち続けてきた宮崎氏の報告から、これからの時代を生き抜く経営について学び合います。

分科会
13

中小企業の役割・魅力の発信 (憲章・条例)

中同協



北海学園大学 経済学部 教授
大貝 健二氏

専門/地域経済学、中小企業論。北海道同友会の景況調査の分析を担当。恵庭市中小企業審議会、別海町中小企業振興審議会など各地の中小企業振興条例の実践にも関わる。主な著書/『よくわかる中小企業』、『入門 現代日本の経済政策』(いずれも共著)など多数。

中小企業憲章・条例運動の到達点と課題

新たな国づくり・地域づくりをめざして

中同協が中小企業憲章と中小企業振興基本条例の制定運動を提起して22年。この間、2010年に中小企業憲章が閣議決定され、条例制定自治体は4割を超えるまでに広がりました。一方、日本経済が長期停滞する中、大企業と中小企業の格差は拡大するなど、中小企業を巡る経営環境は厳しい状況が続いています。憲章・条例運動のさらなる発展に向けて、中小企業政策の動向と憲章・条例運動の到達点・今後の課題などを学びます。

分科会
14

組織強化-地域の希望であり 皆である同友会運動

大分



(株)Daiju.tech 代表取締役
大分同友会日田支部長 **宮野 大樹氏**

創業年2017年/設立年2018年/社員数5名/パート・アルバイト3名/資本金100万円/年商4,800万円/事業内容:WEB、動画制作・保守運営・看板制作・ウェア印刷・PC販売 <https://daiju.tech/>

本音で語れる場が企業も地域も強くする

地域とともに成長し、持続可能な企業づくり

2018年の日田支部期首会勢は37名でした。地道に例会づくりを進め、学びの質を高めることで、少しずつ会員が増えてきた最中に、新型コロナウイルスの感染が拡大。いち早くオンラインによる例会を毎月行い、活動を止めずに「1社もつぶさない」をスローガンに役員が支部会員を訪問し、例会参加を含め声かけを行いました。会員に寄り添う活動の結果、コロナ禍でも会員を増やし、73名(2025年3月末現在)と7年連続純増を達成している取り組みを報告します。

同友会のあらゆる可能性を最大限に生かせ

設立60周年 神奈川県中小企業家同友会 定時総会

2025年4月23日に第62回神奈川県中小企業家同友会（以下、神奈川同友会）定時総会が横浜市中区のロイヤルホールヨコハマにて開催されました。（参加者：173名、委任状：95名、計268名）

今総会では、2024年度活動報告、2025年度活動方針などの議事のあと、会歴20年以上の会員102名が表彰されました。表彰者を代表して株式会社とらべるわんの大貫文夫氏（会歴25年）が「これからも同友会をもりあげていきたい」と謝辞を述べました。

また、今期より代表理事3名、副代表理事7名の体制となることが報告されました。会員1000名が目前となり、神奈川同友会がますます発展していく強い基盤ができあがったこととなります。

さて、今年度の活動方針は「中同協総会議案を経営に生かし学びの総合実践を確立する」です。来る7月3～4日にパシフィコ横浜で開催される第57回中同協定時総会（以下、全国総会）に向け、着々と準備が進んでいます。今年は設営県である神奈川同友会が全国総会議案書の理解を深め、あらためて同友会運動を自社経営に生かすチャンスとも言えます。

総会議事のあとで行われた特別報告では、中小企業家同友会全国協議会（中同協）会長 株式会社ヒロハマ取締役会長 広浜泰久氏より「変化を力に！未来を拓く羅針盤～総会から始まる新たな航海～」をテーマに報

告が、また「総会議案書をどのように自社に生かしていきますか？」をテーマにグループ討論が行われました。

特別報告では全国総会の議案書の草案をもとに、広浜氏がどのように議案書を読み解いているのか、自社の事例を盛り込みながらご報告いただきました。広浜氏は議案書を「自社の企業作りと同友会運動の展開のチェックリストに使用している」とのことで、全部を読み解くのは難しくても、見出しだけでも読んでほしいと話されました。特に会歴の浅い方や経営指針作成部会を受講していない方には多少難しく感じることもあるかもしれません。しかし、全国総会議案書には同友会理念はもとより、「労使見解」「企業変革プログラム」「経営指針成文化」など、同友会運動の基礎となる考え方が網羅されていますので、これを機会に調べてみると自社経営に必ずプラスに働くとと言えます。

広浜氏は学んだことの実践方法としてスケジュール帳を活用されています。その例として、例会に参加したあと、今日の学びから自社でできることは何かを考え、スケジュール帳にいつまでに何をやるかを書き込み、期限付きで行動することで自社を前に前に進めていらっしやいました。こつこつと小さなことを積み重ねることの大切さをご報告いただきました。



会歴20年以上の会員の方々



中同協会長
株式会社ヒロハマ 取締役会長 広浜泰久氏

〈文：株式会社アルジャパン 荒岩 理津子〉

ラジオ広告×補助金活用で あなたのビジネスを加速させませんか？



神奈川県中小企業家同友会では、海老名のコミュニティFM放送局「FMカオン」で県内の企業家・経営者がつながる地域コミュニティのラジオ番組「かながわPOWER！社長とランチタイム」を運営しています。現在、このラジオ番組のスポンサーを募集しています。スポンサー企業様には、番組のオープニングとクロージング時にスポンサー名のコールを行います。

また、今回のスポンサー募集は、小規模事業者持続化補助金や神奈川県内で活用可能な自治体制度も活用いただけます。制度の活用により、通常の商品費の半額～3分の1程度の自己負担でご参画いただける可能性があり、コストを抑えて戦略的に広報活動を行う絶好のチャンスです。

さらに、補助金の選定から申請サポートまで、広報委員会所属の専門家がワンストップでご提案・ご支援いたします。「どの制度が使えるのか分からない」「申請が不安」という方でも安心してご参加いただけるよう、丁寧にご案内します。

補助金を活用して「費用を抑えながら」「信頼性の高いメディア」で「地域に響くPR」を——。商品費を抑えつつ、貴社のサステナビリティ活動として、地域の情報インフラを支える重要な役割を果たし、社会的価値を高めることができます。

ご関心のある企業様は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

募集スポンサー数

4～6社

費用

13万2,000円(税込)

問合せ先

神奈川県同友会事務局 ☎045-222-3671

〈文：ばわらぼ 石川 洋蔵〉

6月7月の

かながわPOWER☆社長とランチタイム♪ 出演者

毎週月・木曜日、FMカオン(84.2MHz)で放送中。リスラジでもお聞きいただけます！

● 2025年6月05日
株栄港建設

岡野 美紀子氏

● 2025年6月12日
株高倉園グリーンセンター

入内島 健一郎氏

● 2025年6月19日
株ROX

白岩 圭氏

● 2025年6月26日
ロクイチクリエイションズ

後藤 充尊氏

● 2025年7月03日
けーえむえす企画(株)

水澤 和也氏

● 2025年7月10日
株ソネット

渋谷 幹男氏

● 2025年7月17日
LM総合法律事務所

網野 雅広氏

● 2025年7月24日
吉成会計事務所

吉成 博史氏

● 2025年7月31日
Natural Art(有)

佐々木 良司氏

※日程や出演者は変更になる場合があります。

NEW FACE 新会員紹介

会社名	社内役職	会員名	所属支部	入会日	事業概要	紹介者
(株)HBC	代表取締役	山口 一	横浜みなと	3月3日	OA機器販売	沖田純子
(株)T.G.T	代表取締役	田村 幸美	川崎	3月7日	海外人材支援事業、ベトナム進出コンサルティング事業、飲食・食品製造事業	池田 進
(株)frame and surface	COO	中村 聡	横浜みなと	3月10日	Web事業、マーケティング事業、広告反響測定、教育関連支援事業（学校情報の調査）	事務局（川崎財団）
(株)nori・nori	代表取締役	服部 満	横浜みなと	3月11日	貸切バスのタイムシェアサービス、事業者様向けに送迎サービスを提供します	事務局（川崎財団）
内藤たたみ(株)	代表取締役	内藤 隆志	横浜みなと	3月11日	畳・襖製造、障子張替、消毒等販売	梅田八寿子
(株)サクセスフルエイジングサポート	代表取締役	金原 嘉子	横浜中央	3月12日	保健師	事務局
SAT社労士・行政書士事務所	代表	佐藤 珠己	横浜みなと	3月19日	社労士・行政書士業務	加藤、星野
NPO法人町田ヒューマンネットワーク	理事長	笠井 宰祥	相模原	3月31日	自立生活センター（CIL）の居宅・訪問看護事業	安藤信哉
NARITA中小企業診断士事務所	代表	成田 潤信	横浜中央	3月31日	BtoC向け店舗コンサルティング、補助金申請、社員研修、ブランディング	事務局
(株)カルサイト	代表取締役	源 正勝	横浜みなと	4月2日	イベント企画、WEBシステム制作	野村美由紀
ワンパーパス(株)	代表取締役	米澤 智子	相模原	4月4日	広報PR受託業及び中小企業診断士業	男澤 誠
(株)クリエイトプロモーション	営業部長（後継者）	久保 修	横浜みなと	4月7日	メディア広告、PR広告、印刷物、看板広告、イベントの企画、総合広告代理店	坂巻健一郎
NPO法人すずらんチャイルドケア	理事長	太田 祥子	小田原	4月8日	小規模保育事業所の運営とキャリアアップや資格取得の研修事業	北野和信
(株)STUDIO57	取締役	鈴木 健祥	たま田園	4月11日	ソフトウェア受託開発	事務局（HP）
プルデンシャル生命保険(株)	営業所長	三澤 隆司※	県央	4月11日	生命保険業及びそれに付随する業務	大竹 直
Italian Bar AMIGO	代表	ラメス ケーシー	横浜みなと	4月15日	イタリアンレストラン（馬車道店、弁天通り店）	神田、情野
(株)Space Dog	代表取締役	鎌田 瑞生	小田原	4月17日	コンピュータのソフトウェア及び組み込みシステム等ハードウェアの企画・研究・開発・設計・製造	岩岡博徳
NT Recipe コンサルティング合同会社	代表	能瀬 敏光	横浜中央	4月18日	技術コンサルティング	事務局（HP）
(株)Key-partners	代表取締役	庭山 康彦	横浜中央	4月28日	採用特化のSNS動画マーケティング支援	関谷斗武
(株)キャリアッジリターン	代表取締役	福田 信也	相模原	4月30日	受託ソフトウェア開発	奥岡 彰
重政社会保険労務士事務所	代表	重政 智博	相模原	4月30日	障害福祉を中心とした社会保険労務士業	榎本重秋

2025年4月30日現在会員数：937名（全国会員数：47,511名）

※：賛助会員

会員 Information

住所変更

(株)データプロセスサービス 代表取締役 大西雄一氏

旧：〒210-0006 川崎市川崎区砂子1-9-1 田中ビル5F

新：〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビルディング18階

編集後記 広報委員会より愛をこめて

毎週木曜日12時から放送の「かながわPOWER☆社長とランチタイム」

今年6月で3年目に突入!! 出演くださった経営者の数は100名を優に超えました。広報委員会の使命は会内外に同友会を知らしめること。ラジオ聴取者は実は全国にちらばっています。経営者の人となりスポットをあてた、ランチタイムが楽しくなる番組です。次はあなたの出番! 自薦他薦お待ちしております。

過去の放送はFMカオンホームページにあるアーカイブで聴けます。

昨年2月に株式会社キョウオンを設立しました。

司会、ナレーション、話し方コーチング、研修と「しゃべり」に特化した会社です。

「話す」は戦略をたてることから始まります。

普段の話から、ここぞというビジネスの場での話まで、「伝える力でビジネスを変える話し方」の技術を提供します。

とはいえ、経営者としては初心者、「なんとかせんといかん!」と、この秋の経営指針作成部会を受講します。先輩方、ご指導よろしくお願ひします。



テレビ、ラジオ局のアナウンサーから研修講師、専門学校教員、大学で学生のキャリア支援と企業の採用支援。そして司会とナレーション。転勤族の夫にくっついて全国を転々としながら、仕事を探して全力投球! 「転勤族の妻のキャリアなめんなよ!」なんて、自分を鼓舞しながら歩んできた中で思うのは、やはり人に恵まれたこと。今度は私が誰かの役に立ちたい。「自分の人生、思いっきり楽しんで!」 (株)キョウオン 代表取締役 堤 由里恵

真の人間尊重の
社会をつくり
新しい歴史を
創造しよう！

 中小企業家同友会全国協議会

第57回 定時総会 in 神奈川

2025年 7/3(木)・4(金)
13時開会 12時閉会

〈会場〉パシフィコ横浜 会議センター 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 〈会費〉30,000円(懇親会費込/宿泊・交通費別)

主催 中小企業家同友会全国協議会 設営 神奈川県中小企業家同友会

【広報委員】 [横浜中央支部] 中林正幸、網野雅広 [横浜みなと支部] [川崎支部] [県央支部] [湘南支部] [県南支部] [小田原支部] [たま田園支部] 佐藤慎治
松村千代、堤由里恵、今井鉄平、長尾真裕美 木村亮太 外木宏明 天野哲也 鈴木大、藤木尚 荒岩理津子 小山暢宏 鈴崎治男、佐々木良司、石川洋蔵

表紙/photo: 松村千代(株)ハマ企画 / design: 佐藤慎治(有)デザインスペースマジック

神奈川県中小企業家同友会 | 2025年6月1日発行 編集責任者/松村千代 発行:神奈川県中小企業家同友会 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
同友かながわ第466号 | 神奈川中小企業センタービル3F TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672 制作・印刷/株神奈川機関紙印刷所